

補強鉄筋の耐食性

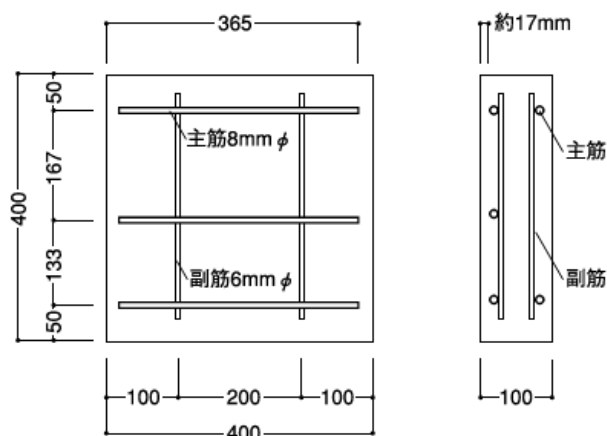
● 供試体

- (1) 供試体には、すべて中央部に強制的にひび割れを入れた
- (2) 試料数は、各試験条件につき3体ずつとした

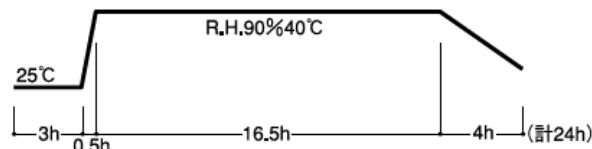
● 試験方法

- (1) 東大式 ALC 試験: 東大式 ALC 補強鉄筋腐蝕試験機によるドイツ規格に準ずる試験。試験期間 1 カ月
- (2) 屋外暴露試験: 東大工学部1号館中庭に設置する。試験期間 3 カ月・6 カ月
- (3) 塩水噴霧試験: 塩水噴霧試験機 ST-J 型(東洋理化製)を使用し JIS Z 2371 の方法に準じて運転する。供試体 3 個ずつ内部に設置して操作する
食塩水濃度 3%・pH5.2~5.4、温度 35°C、回数 4h/回 × 2 回/週、試験期間 5 週間・10 週間

鉄筋上の錆の有無および発生の度合いは肉眼で観察した



供試体の概要



コントロールプログラム

● 試験結果

試験項目	東大式 ALC	屋外暴露		塩水噴霧	
試験状況	1 カ月	3 カ月	6 カ月	5 週間	10 週間
発錆状況	なし	なし	なし	なし	なし